

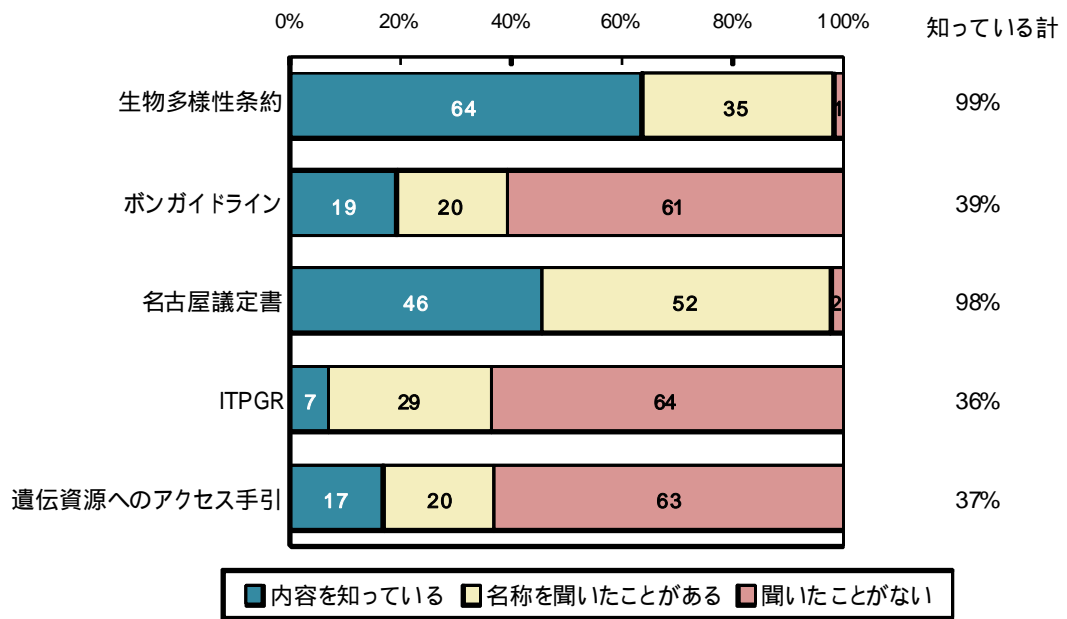
研究者による遺伝資源等の利用実態について

1 基本情報

遺伝資源に関連する条約・ガイドライン等の認知度

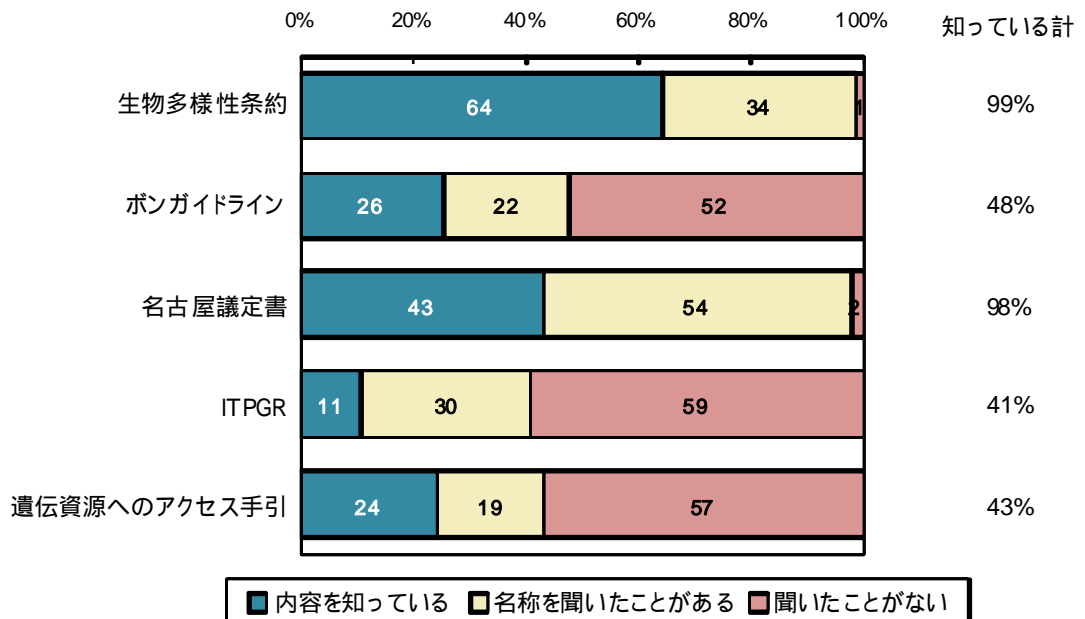
Q1. 遺伝資源に関連する条約・ガイドライン等の認知度(SA)

Base: 全体(N=140)

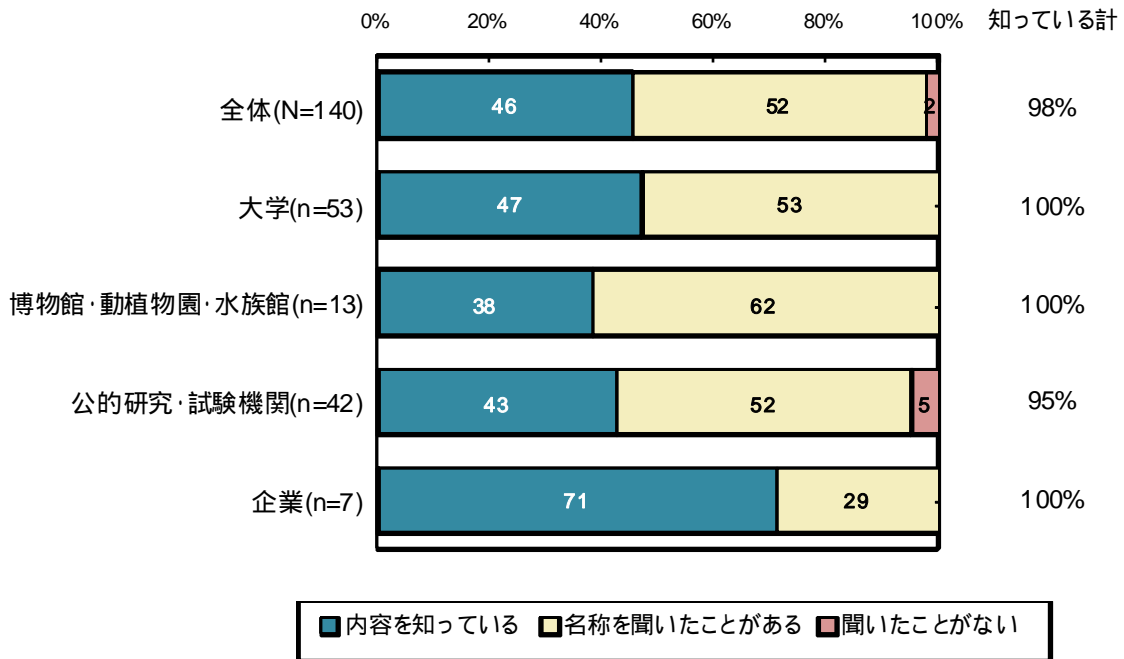


Q1. 遺伝資源に関連する条約・ガイドライン等の認知度(SA)

Base: 今後、遺伝資源を取得したいと回答した研究者等(n=90)



Q1_3.遺伝資源に関連する条約・ガイドライン等の認知度_名古屋議定書(SA)

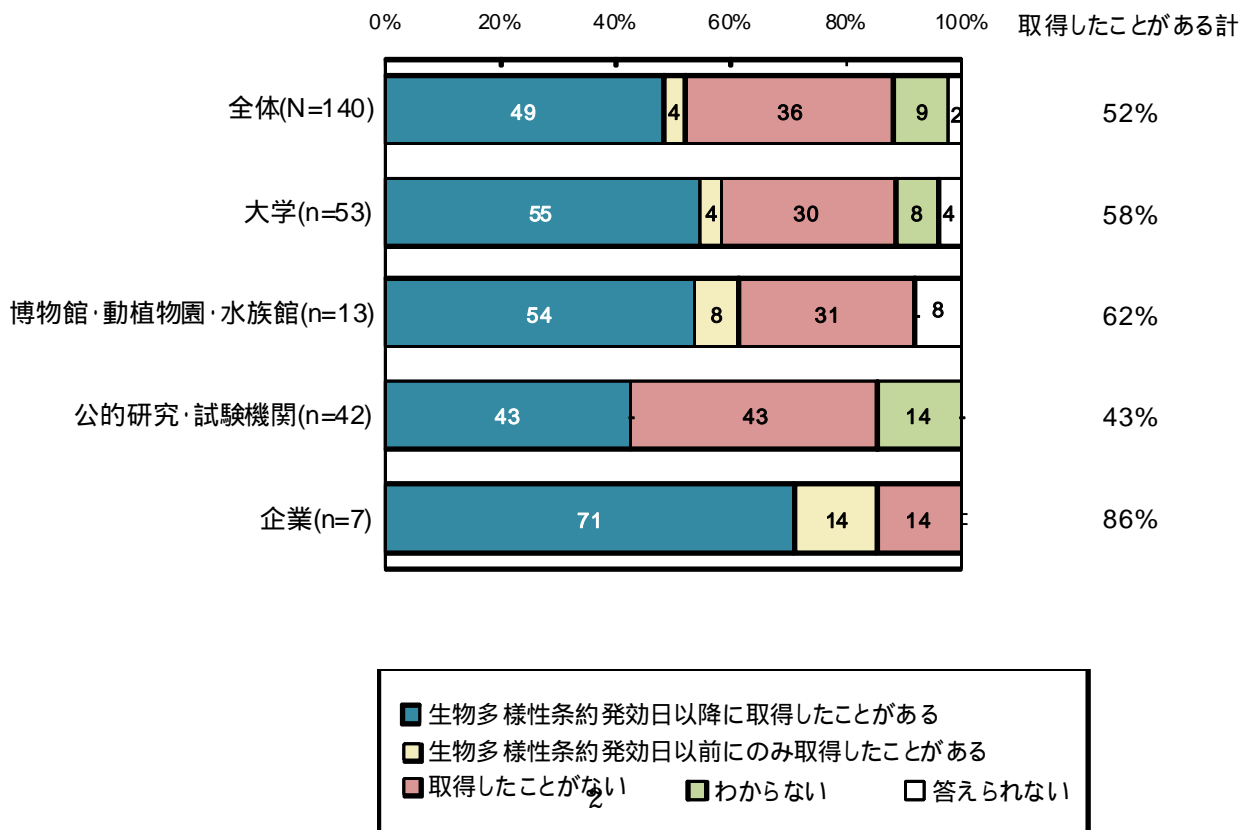


「博物館・動植物園・水族館」、「企業」はサンプル数が少ないため参考値である。

国内外の遺伝資源又は関連する伝統的知識の取得経験

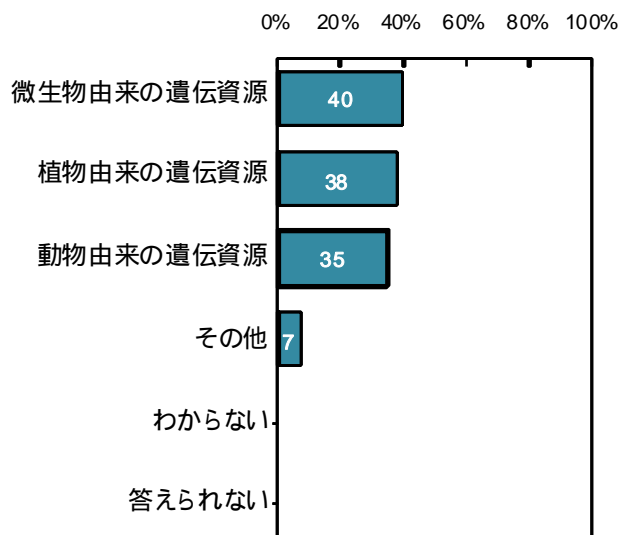
Q2.国内外の遺伝資源又は関連する伝統的知識の取得経験(SA)

「博物館・動植物園・水族館」、「企業」はサンプル数が少ないため参考値である。



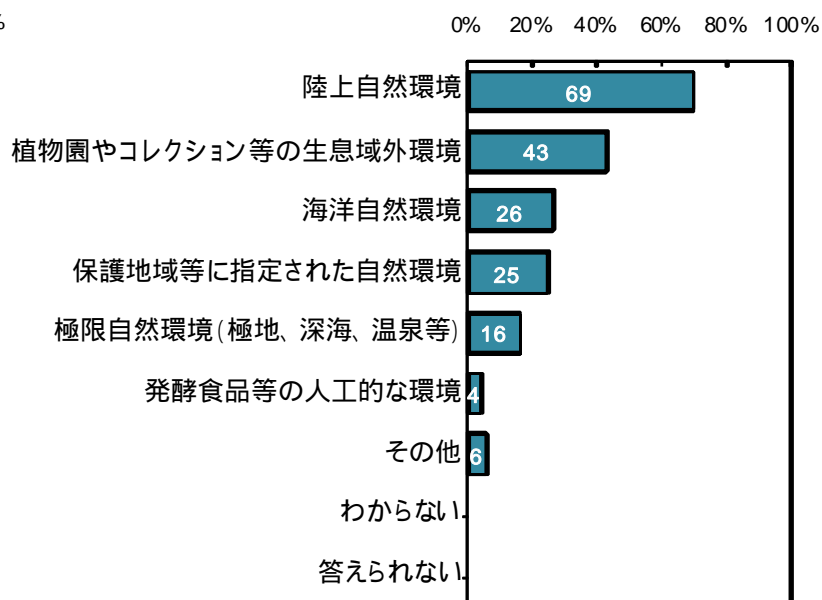
取得したことがある遺伝資源

Q3.取得したことがある遺伝資源(MA)
Base:遺伝資源等の取得経験者(n=68)



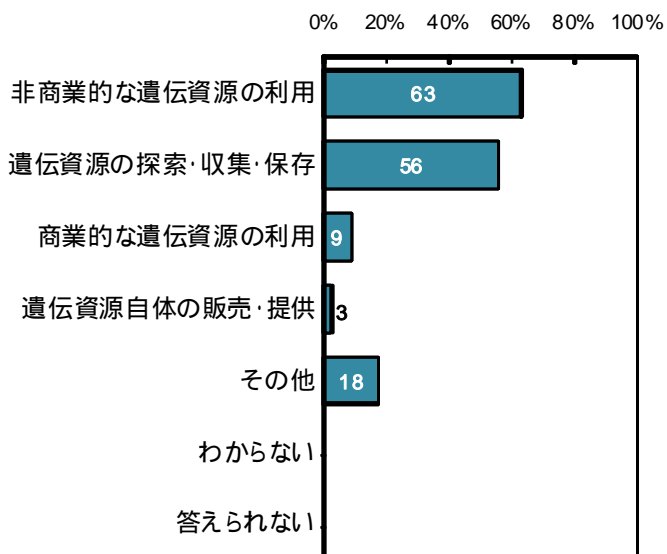
遺伝資源を取得した環境

Q4.遺伝資源を取得した環境(MA)
Base:遺伝資源等の取得経験者(n=68)



遺伝資源の主な取得目的

Q5.遺伝資源の主な取得目的(MA)
Base:遺伝資源等の取得経験者(n=68)

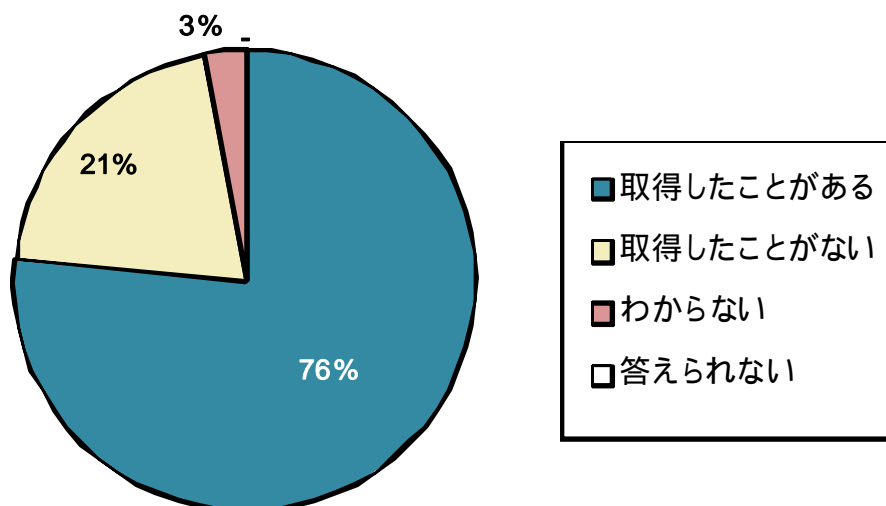


2 海外の遺伝資源の取得について

生物多様性条約発効以降の海外遺伝資源の取得経験

Q6. 生物多様性条約発効以降の海外遺伝資源の取得経験(SA)

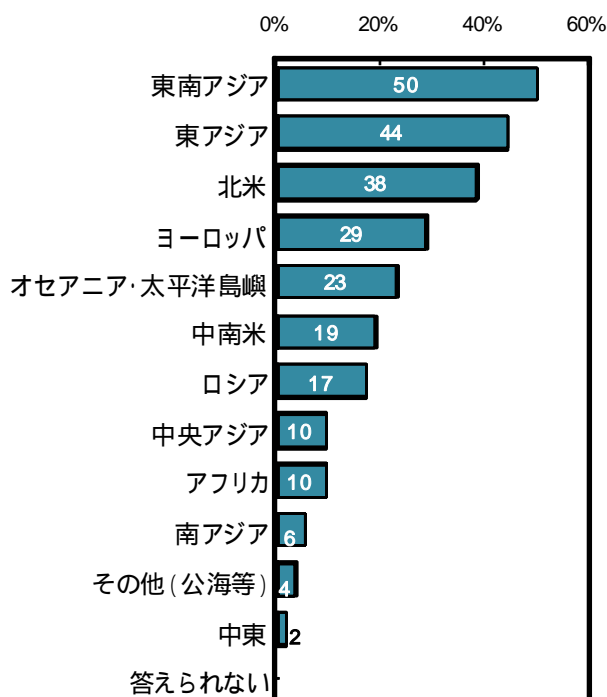
Base: CBD発効日以降取得経験あり(n=68)



海外遺伝資源の取得先（提供国）

Q7. 遺伝資源の提供国(MA)

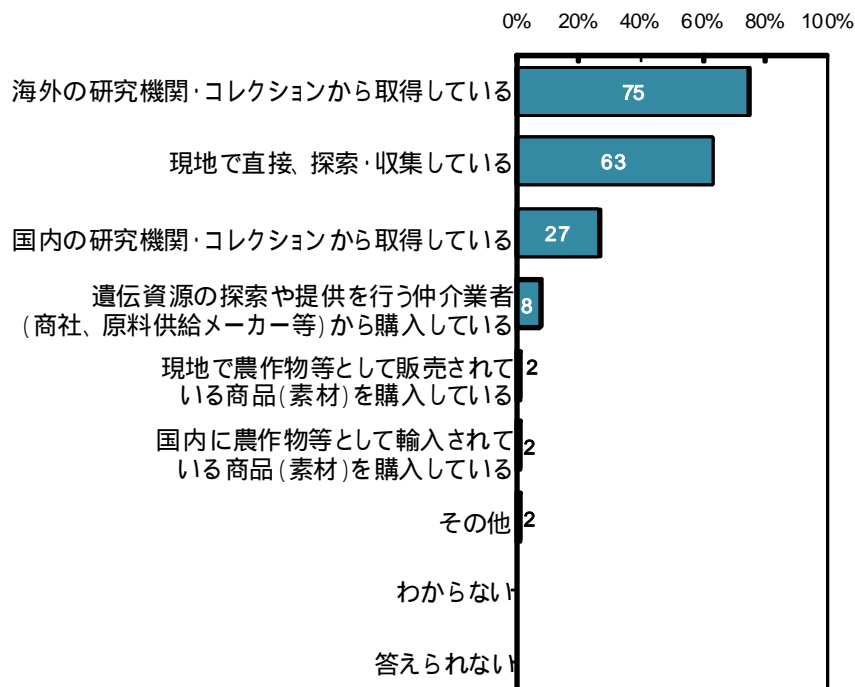
Base: CBD発効以降に海外遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=52)



**海外の遺伝資源の
取得方法**

Q8.海外の遺伝資源の取得方法(MA)

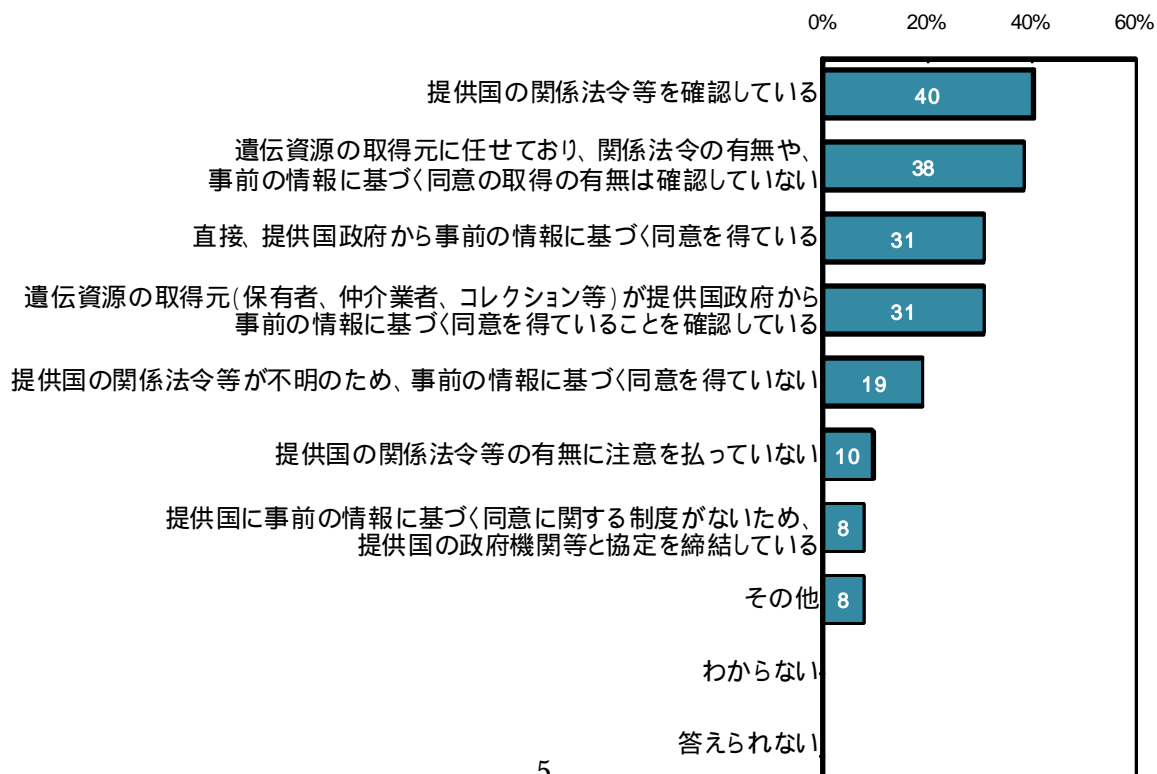
Base: CBD発効以降に海外遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=52)



提供国からの事前情報に基づく同意の取得

Q9.提供国からの事前情報に基づく同意の取得(MA)

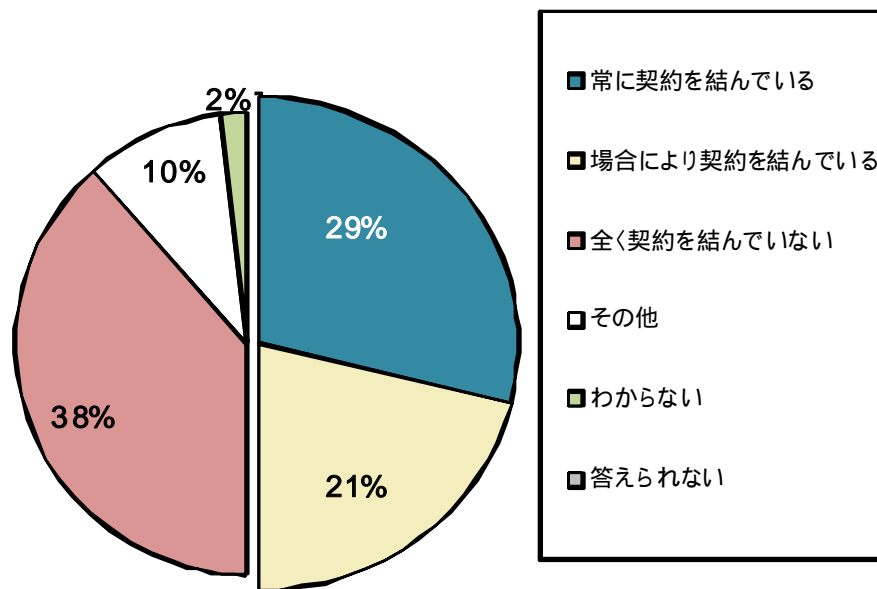
Base: CBD発効以降に海外遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=52)



海外遺伝資源取得時の利益配分契約の締結

Q10.海外遺伝資源取得時の利益配分契約の締結(SA)

Base: CBD発効以降に海外遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=52)



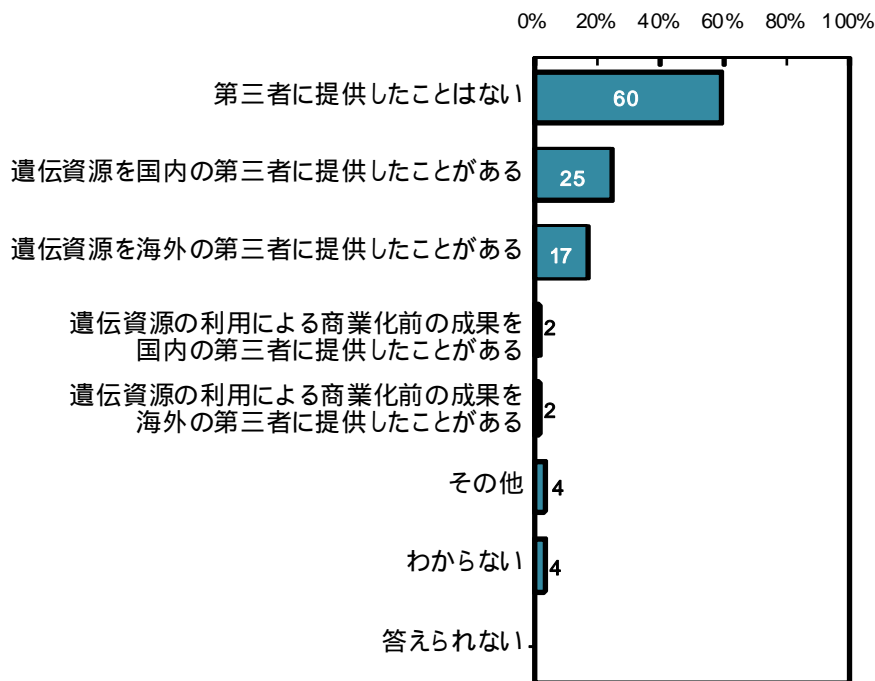
契約を結んでいる(計): 50%

海外遺伝資源に関する利益配分の実績

Q10SQ2. 海外遺伝資源に関する利益配分の実績 (S A)	n	%
金銭的利益配分、非金銭的利益配分とも行なったことがある	5	19
金銭的利益配分のみ行なったことがある	3	12
非金銭的利益配分のみ行なったことがある	7	27
まだ利益配分を行なったことはない	10	38
その他	0	0
わからない	1	4
答えられない	0	0
非該当	114	
全体	26	100

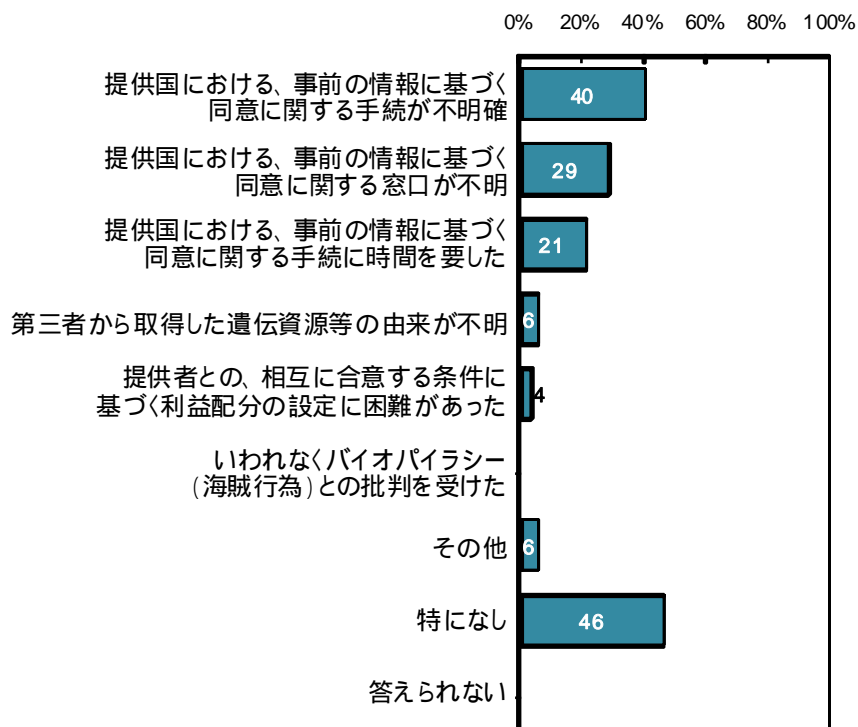
**海外遺伝資源又は商業化前
成果の第三者への提供の経験**

Q11. 海外遺伝資源又は商業化前成果の第三者への提供の経験(MA)
Base: CBD発効以降に海外遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=52)



**海外遺伝資源取得時の
困った経験**

Q12. 海外遺伝資源取得時の困った経験(MA)
Base: CBD発効以降に海外遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=52)

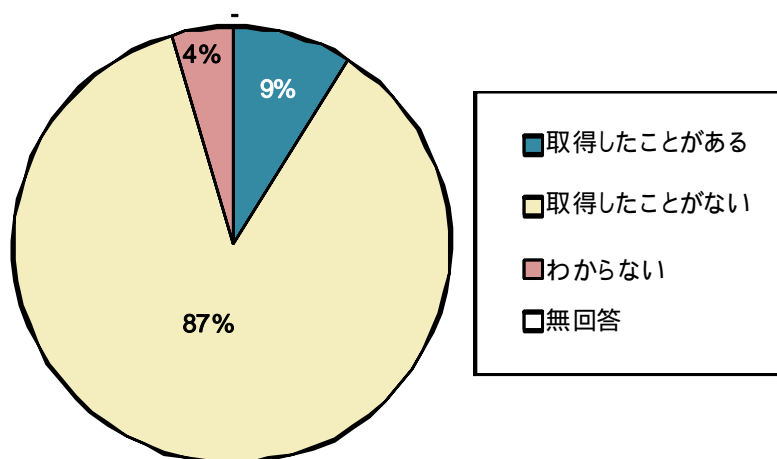


3 海外の伝統的知識の取得について

生物多様性条約発効以降の海外伝統的知識の取得経験

Q19.生物多様性条約発効以降の海外伝統的知識の取得経験 (SA)

Base: 遺伝資源等の取得経験者 (n=68)



海外伝統的知識の取得先

Q20. 海外伝統的知識の取得先 (M A)	n	%
東南アジア	4	67
東アジア	2	33
アフリカ	1	17
中南米	1	17
オセアニア・太平洋島嶼	0	0
ロシア	0	0
中央アジア	0	0
南アジア	0	0
中東	0	0
ヨーロッパ	0	0
北米	0	0
その他	0	0
答えられない	0	0
非該当	134	
全体	6	100

海外の伝統的知識の取得方法

Q21. 海外の伝統的知識の取得方法 (M A)	n	%
現地で伝統的知識の保有者（先住民等）から取得している	5	83
文献、論文、インターネット、博物館、植物園等により取得している	5	83
現地で伝統的知識の保有者以外の第三者（仲介業者や研究者等を含む）から取得している	3	50
その他	1	17
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	134	
全体	6	100

先住民等社会からの事前情報に基づく同意の取得

Q22. 先住民等社会からの事前情報に基づく同意の取得 (M A)	n	%
提供国の関係法令等を確認している	3	50
提供国の関係法令や関係する先住民等社会などが不明のため、事前の情報に基づく同意を得ていない	3	50
提供国の関係法令等の有無に注意を払っていない	3	50
伝統的知識の取得元に任せており、関係法令の有無や、事前の情報に基づく同意の有無を確認していない	2	33
直接、先住民等社会から事前の情報に基づく同意を得ている	1	17
伝統的知識の取得元（仲介業者や研究者等）が先住民等社会から事前の情報に基づく同意を得ていることを確認している	1	17
提供国に事前の情報に基づく同意に関する制度がないため、提供国の政府機関等と協定を締結している	0	0
その他	0	0
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	134	
全体	6	100

海外伝統的知識取得時の利益配分契約の締結

Q23. 利益配分契約の有無 (S A)	n	%
常に契約を結んでいる	0	0
場合により契約を結んでいる	2	33
全く契約を結んでいない	4	67
その他	0	0
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	134	
全体	6	100

海外伝統的知識に関する利益配分の実績

Q23SQ2. 海外伝統的知識に関する利益配分の実績 (S A)	n	%
金銭的利益配分、非金銭的利益配分とも行なったことがある	0	0
金銭的利益配分のみ行なったことがある	0	0
非金銭的利益配分のみ行なったことがある	0	0
まだ利益配分を行なったことはない	1	50
その他	1	50
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	138	
全体	2	100

海外伝統的知識取得時の困った経験

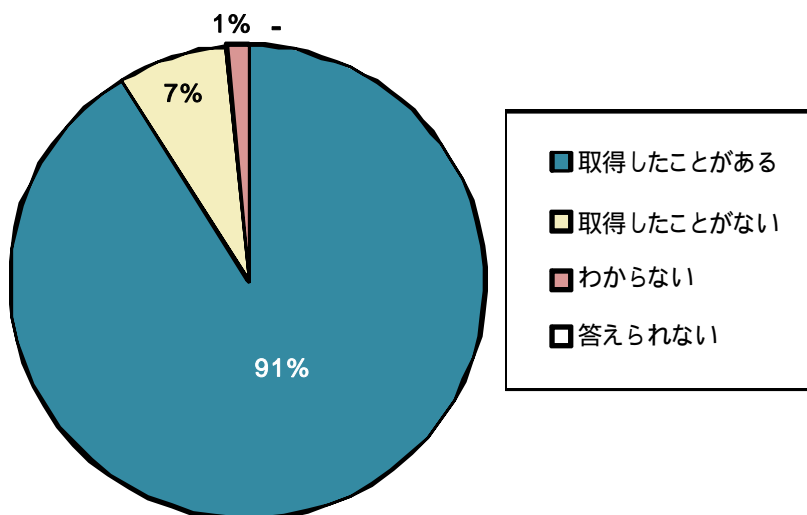
Q24. 海外の伝統的知識取得の際の困った経験 (M A)	n	%
提供国における、先住民等社会の事前の情報に基づく同意に関する窓口が不	4	67
提供国における、先住民等社会の事前の情報に基づく同意に関する手続が不	3	50
提供国における、先住民等社会の事前の情報に基づく同意手続に時間を要し	1	17
先住民等社会との、相互に合意する条件に基づく利益配分に困難があった	1	17
第三者から取得した伝統的知識の由来が不明	1	17
いわれなくバイオパイラシー（海賊行為）との批判を受けた	0	0
その他	0	0
特になし	1	17
答えられない	1	17
非該当	134	
全体	6	100

4 国内の遺伝資源の取得について

生物多様性条約発効以降の国内遺伝資源の取得経験

Q13.生物多様性条約発効以降の国内遺伝資源の取得経験(SA)

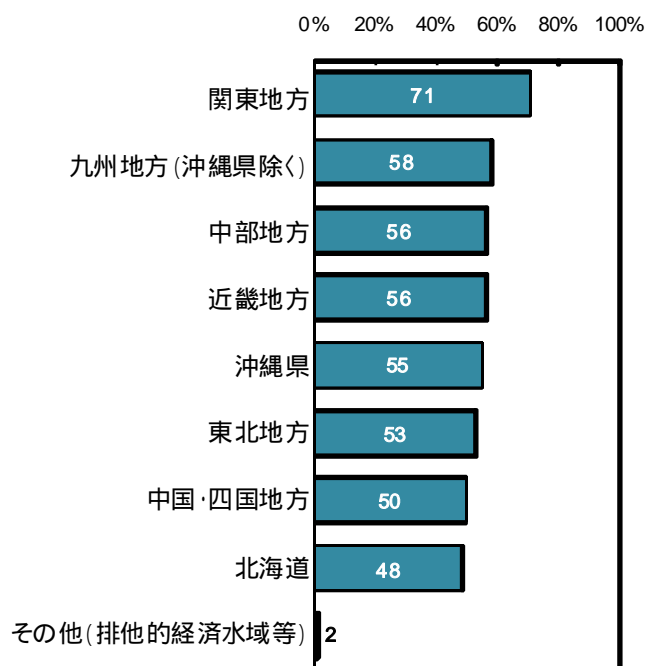
Base:遺伝資源等の取得経験者(n=68)



国内遺伝資源の取得先

Q14.国内遺伝資源の取得先(MA)

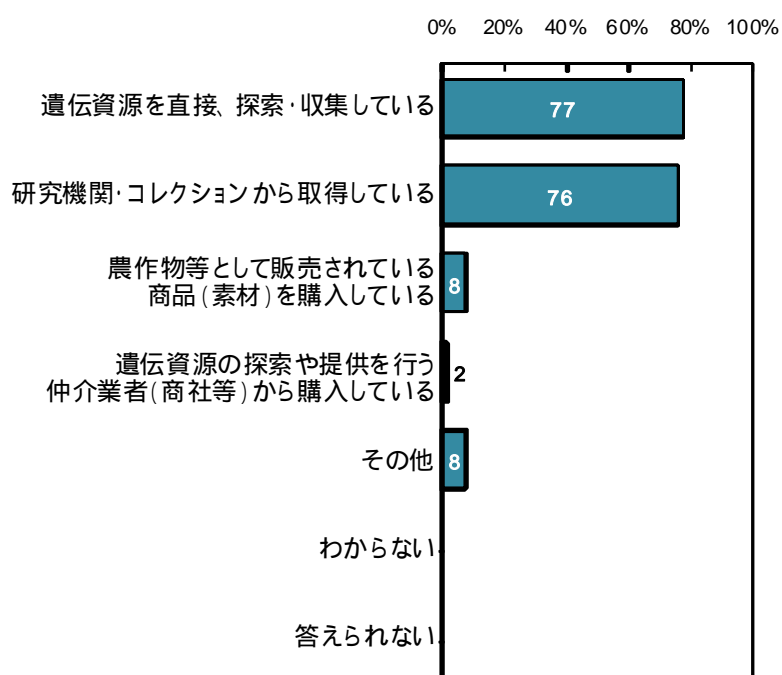
Base: CBD発効以降に国内遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=62)



国内の遺伝資源の取得方法

Q15.国内の遺伝資源の取得方法(MA)

Base: CBD発効以降に国内遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=62)



国内における探索・収集場所

Q15SQ1.国内における探索・収集場所(M A)	n	%
山岳地域、森林	32	67
国・公有地	31	65
保護地域(自然公園、自然環境保全地域、保護林等)	24	50
所有地以外の私有地	18	38
海域	15	31
所有地内(借地を含む)	14	29
極限環境(温泉、深海、等)	9	19
その他	2	4
答えられない	0	0
非該当	92	
全体	48	100

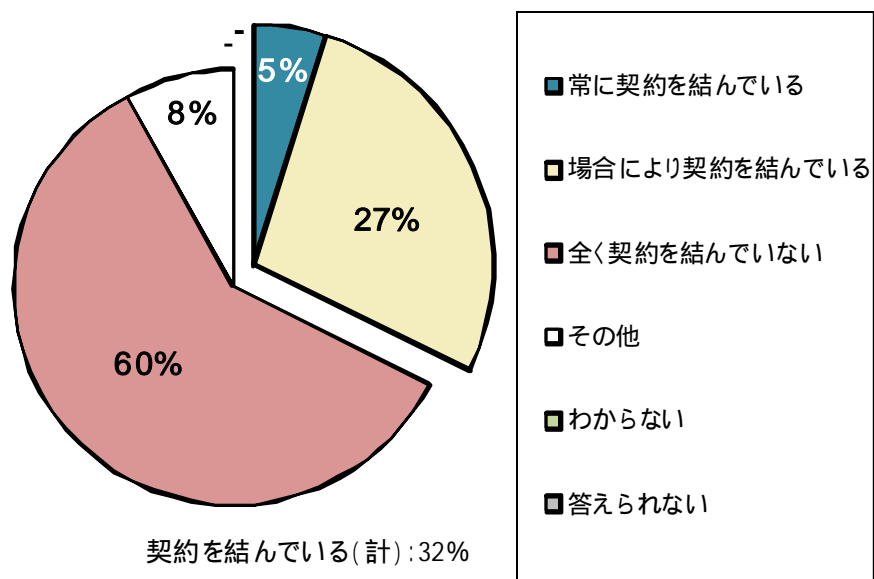
国内遺伝資源の提供者の同意取得

Q15SQ2.国内遺伝資源の提供者の同意取得(M A)	n	%
常に同意を得ている	10	21
場合により同意を得ている	36	75
全く同意を得ていない	4	8
その他	2	4
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	92	
全体	48	100

国内遺伝資源取得時の利益配分契約の締結

Q16.国内遺伝資源取得時の利益配分契約の締結(SA)

Base: CBD発効以降に国内遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=62)

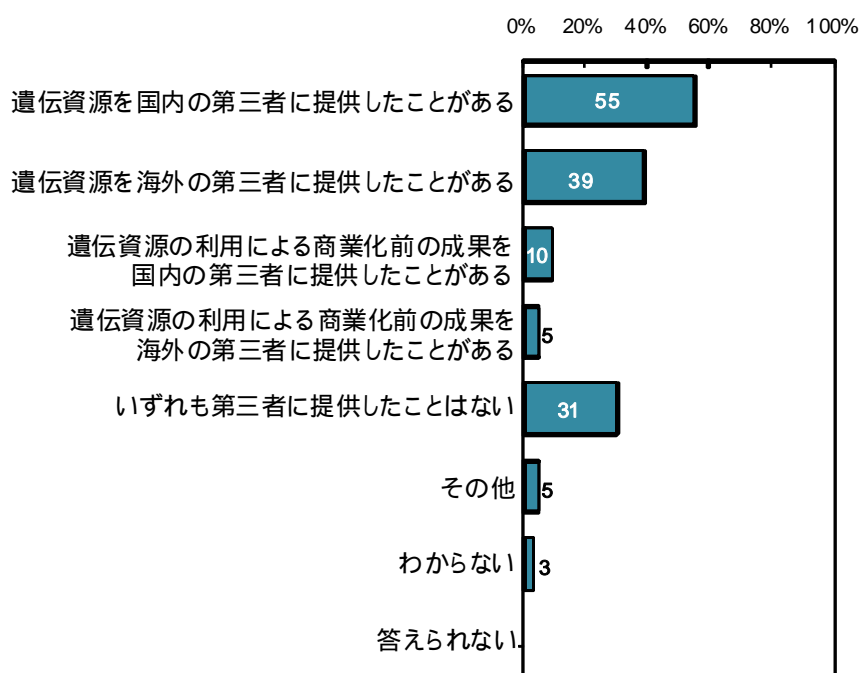


国内遺伝資源に関する利益配分の実績

Q16SQ2. 国内遺伝資源に関する利益配分の実績 (S A)	n	%
金銭的利益配分、非金銭的利益配分とも行なったことがある	3	15
金銭的利益配分のみ行なったことがある	1	5
非金銭的利益配分のみ行なったことがある	2	10
まだ利益配分を行なったことはない	12	60
その他	0	0
わからない	2	10
答えられない	0	0
非該当	120	
全体	20	100

国内遺伝資源に関する商業化前成果の第三者への提供の経験

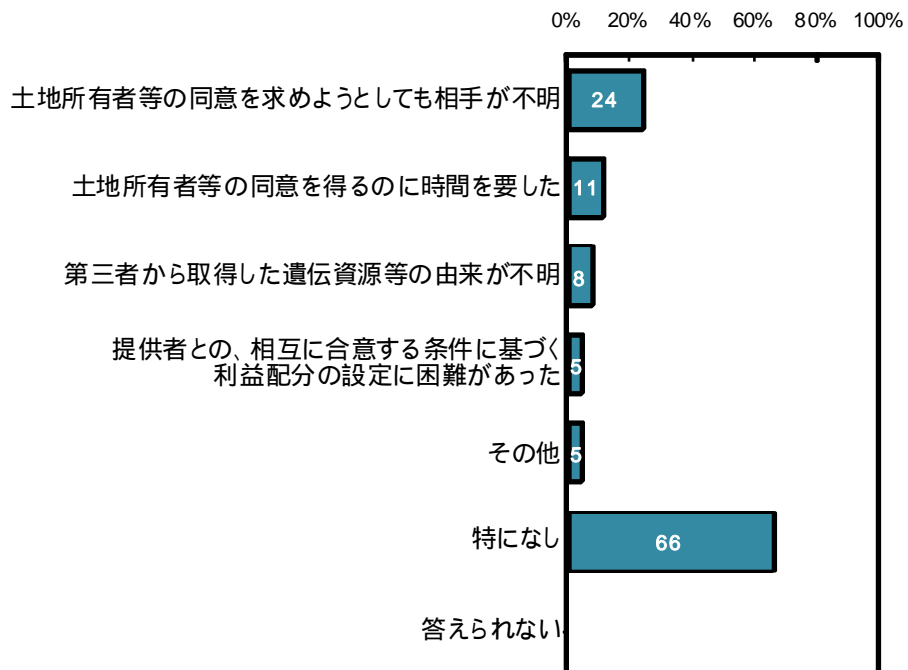
Q17. 国内遺伝資源に関する商業化前成果の第三者への提供の経験 (MA)
 Base: CBD発効以降に国内遺伝資源の取得経験のある研究者等 (n=62)



国内遺伝資源取得時の困った経験

Q18.国内遺伝資源取得時の困った経験(MA)

Base: CBD発効以降に国内遺伝資源の取得経験のある研究者等(n=62)

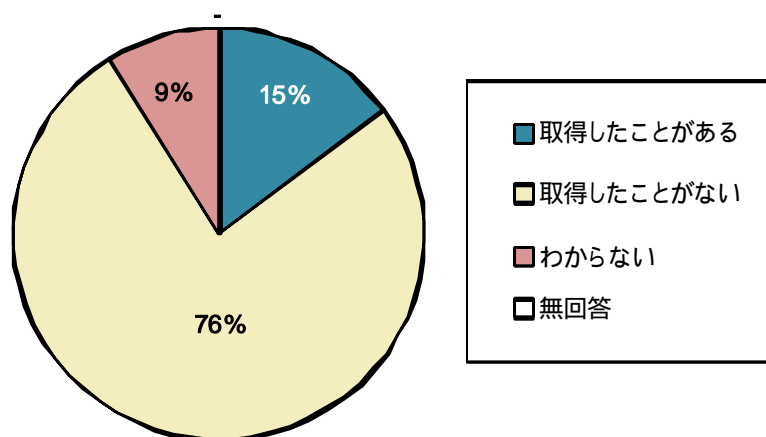


5 国内の伝統的知識の取得について

生物多様性条約発効以降の国内伝統的知識の取得経験

Q25.生物多様性条約発効以降の国内伝統的知識の取得経験(SA)

Base:遺伝資源等の取得経験者(n=68)



国内伝統的知識の取得先

Q26.国内伝統的知識の取得先(MA)	n	%
中部地方	3	30
近畿地方	3	30
東北地方	2	20
関東地方	2	20
沖縄県	2	20
中国・四国地方	1	10
九州地方(沖縄県除く)	1	10
北海道	0	0
その他	0	0
答えられない	0	0
非該当	130	
全体	10	100

国内の伝統的知識の取得方法

Q27.国内の伝統的知識の取得方法(MA)	n	%
伝統的知識の保有者(先住民等)から直接取得している	7	70
文献、論文、インターネット、博物館、植物園等により取得している	6	60
伝統的知識の保有者以外の第三者(仲介業者や研究者等を含む)から取得している	3	30
その他	1	10
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	130	
全体	10	100

国内伝統的知識取得時の利益配分契約の締結

Q28.国内伝統的知識取得時の利益配分契約の締結 (SA)	n	%
常に契約を結んでいる	1	10
場合により契約を結んでいる	2	20
全く契約を結んでいない	7	70
その他	0	0
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	130	
全体	10	100

国内伝統的知識に関する利益配分の実績

Q28SQ2.国内伝統的知識に関する利益配分の実績 (SA)	n	%
金銭的利益配分、非金銭的利益配分とも行なったことがある	0	0
金銭的利益配分のみ行なったことがある	0	0
非金銭的利益配分のみ行なったことがある	0	0
まだ利益配分を行なったことはない	3	100
その他	0	0
わからない	0	0
答えられない	0	0
非該当	137	
全体	3	100

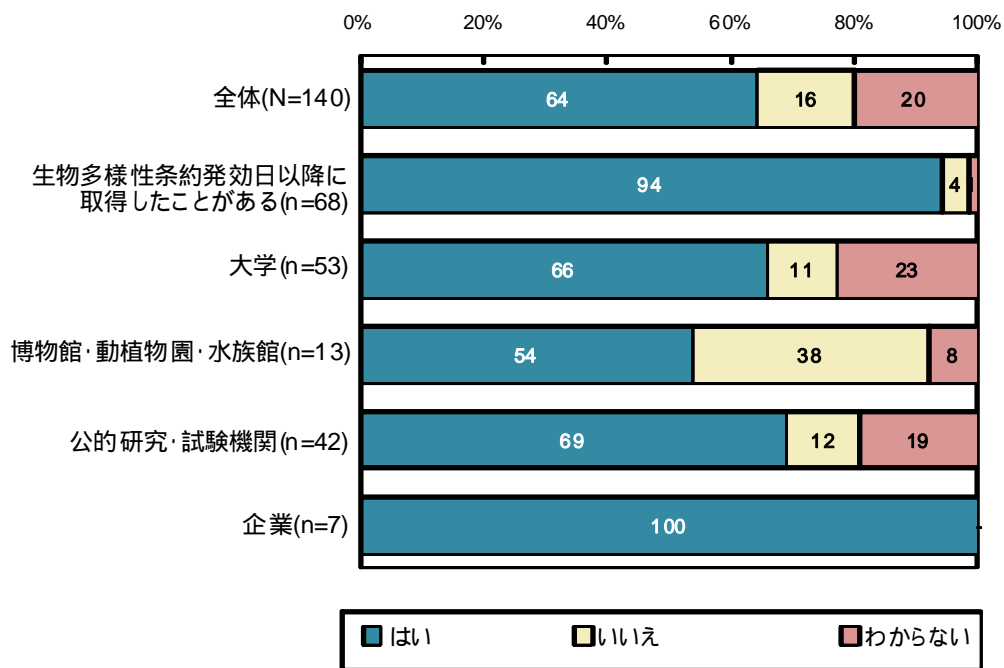
国内伝統的知識取得時の困った経験

Q29.国内の伝統的知識取得の際の困った経験 (MA)	n	%
伝統的知識の保有者等の同意を求めようとしても相手が不明確	3	30
第三者から取得した伝統的知識の由来が不明	2	20
伝統的知識の保有者等の同意を得るのに時間を要した	0	0
提供者との、相互に合意する条件に基づく利益配分の設定に困難があった	0	0
その他	2	20
特になし	6	60
答えられない	0	0
非該当	130	
全体	10	100

6 今後の取得に関する意向や施策に関するニーズについて

今後の遺伝資源取得の意向

Q30.今後の遺伝資源取得の意向(取得したいか)(SA)

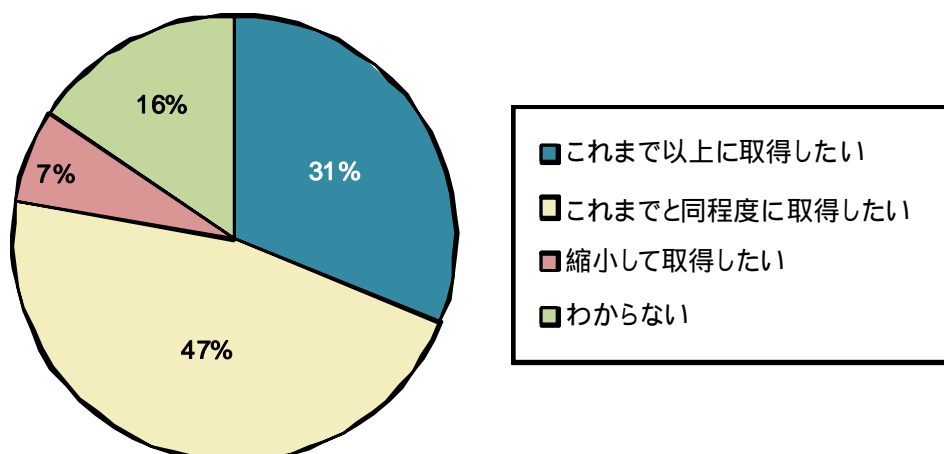


「博物館・動植物園・水族館」、「企業」はサンプル数が少ないため参考値である。

海外の遺伝資源の取得に関するニーズ

Q30SQ2.海外の遺伝資源の取得に関するニーズ(SA)

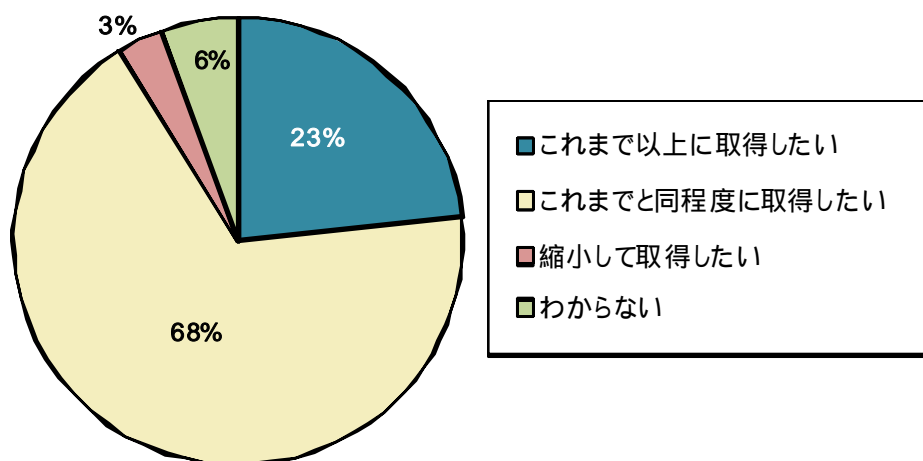
Base: 今後、遺伝資源を取得したいと回答した研究者等(n=90)



国内の遺伝資源の取得に関するニーズ

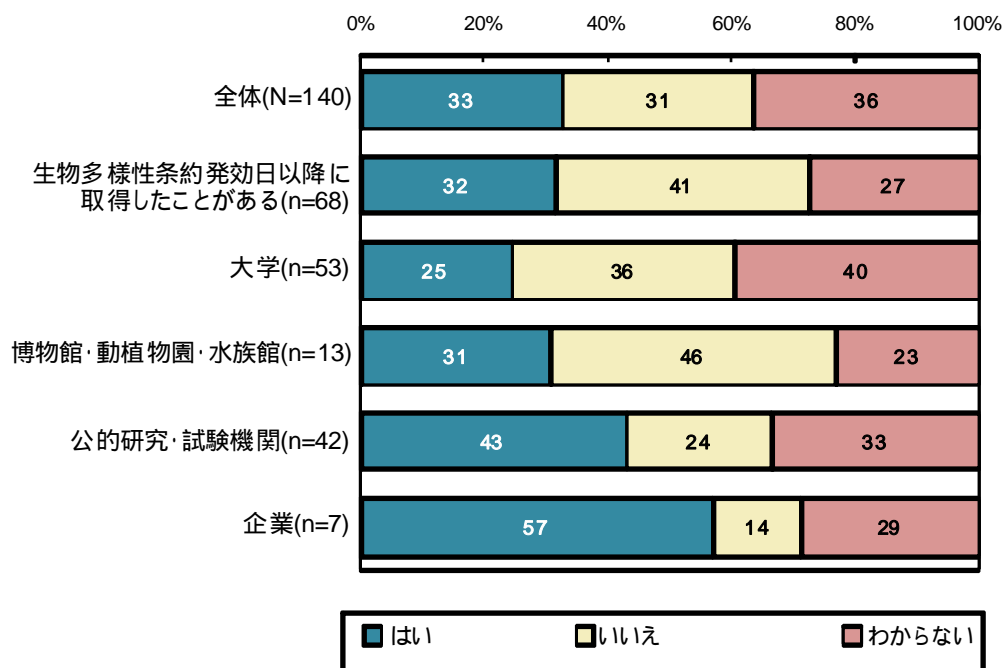
Q30SQ1.国内の遺伝資源の取得に関するニーズ(SA)

Base: 今後、遺伝資源を取得したいと回答した研究者等(n=90)



今後の伝統的知識取得の意向

Q31.今後の伝統的知識取得の意向(取得したいか)(SA)



「博物館・動植物園・水族館」、「企業」はサンプル数が少ないため参考値である。

< 調査の概要 >

(1) 目的

- 研究者や技術者による遺伝資源及び遺伝資源に関連する伝統的知識の取得の実態や意向等を把握し、名古屋議定書に係る国内措置のあり方の検討に資する。

(2) 方法

- インターネットに質問票を掲載し、回答を募集（オープン形式）

(3) 対象

- 生物科学、農学（特に育種・園芸）、バイオテクノロジー関連の研究者・技術者（下記により回答者を募集）
 - ◇ 生物科学、農学（特に育種・園芸）、バイオテクノロジー関連学会（約 30 団体）等を通じ広く研究者・技術者への周知を依頼

(4) 期間

- 2013 年 2 月 18 日から 3 月 15 日まで

(5) 有効回収サンプル

- 140 サンプル

(6) 回答者属性

- 本調査は回答者募集式によるものであり標本調査ではないこと、また、回収サンプルは周知を依頼した各学会等における周知状況にも依存していることに留意して参照されたい。
- 有効回収サンプルを構成する属性の内訳は下に掲げる表の通りである。所属先の内訳に示される通り、企業所属者からの回答は少なく、回答者は「大学（教員・職員）」「博物館・動植物園・水族館」「公的研究・試験機関（教育機関・博物館等を除く）」の所属者で 77.1%を占めていることに留意されたい。

所属先の種別	n	%
大学（教員・職員）	53	38
高等専門学校（教員・職員）	0	0
博物館・動植物園・水族館	13	9
公的研究・試験機関（教育機関・博物館等を除く）	42	30
医薬・ヘルスケア企業	2	1
化粧品・トイレットリー企業	0	0
食品・健康食品企業	3	2
育種企業（花卉・園芸を含む）	1	1
受託等による研究開発の企業	0	0
遺伝資源の収集・保存・提供等（遺伝資源の取得仲介を含む）の企業	1	1
学生（大学、高等専門学校、大学院）	9	6
その他	16	11
全体	140	100

専門分野	n	%
環境学（環境解析学／環境保全学／環境創成学等）	28	20
化学（基礎化学／複合化学／材料化学等）	4	3
工学（材料工学／プロセス・化学工学／総合工学等）	2	1
生物科学（分子生物学／構造生物化学／機能生物化学等）	34	24
基礎生物学（遺伝・染色体動態／進化生物、生物多様性・分類等）	88	63
生産環境農学（遺伝育種科学／園芸科学等）	19	14
農芸化学（応用微生物学／応用生物化学／食品科学等）	20	14
その他農学（森林園科学／水圏応用科学／動物生命科学／境界農学等）	33	24
薬学（生物系薬学／天然資源系薬学等）	2	1
医歯学	2	1
知的財産管理・産学連携	4	3
その他	0	0
全体	140	100